

大阪府地誌略

私立大阪教育会編輯全

特31

262

025241-000-6

特31-262

大阪府地誌略

私立大阪教育会／編

M26

ADC-2650



私立大阪教育會編輯

大阪府地誌略

教育書房發兌

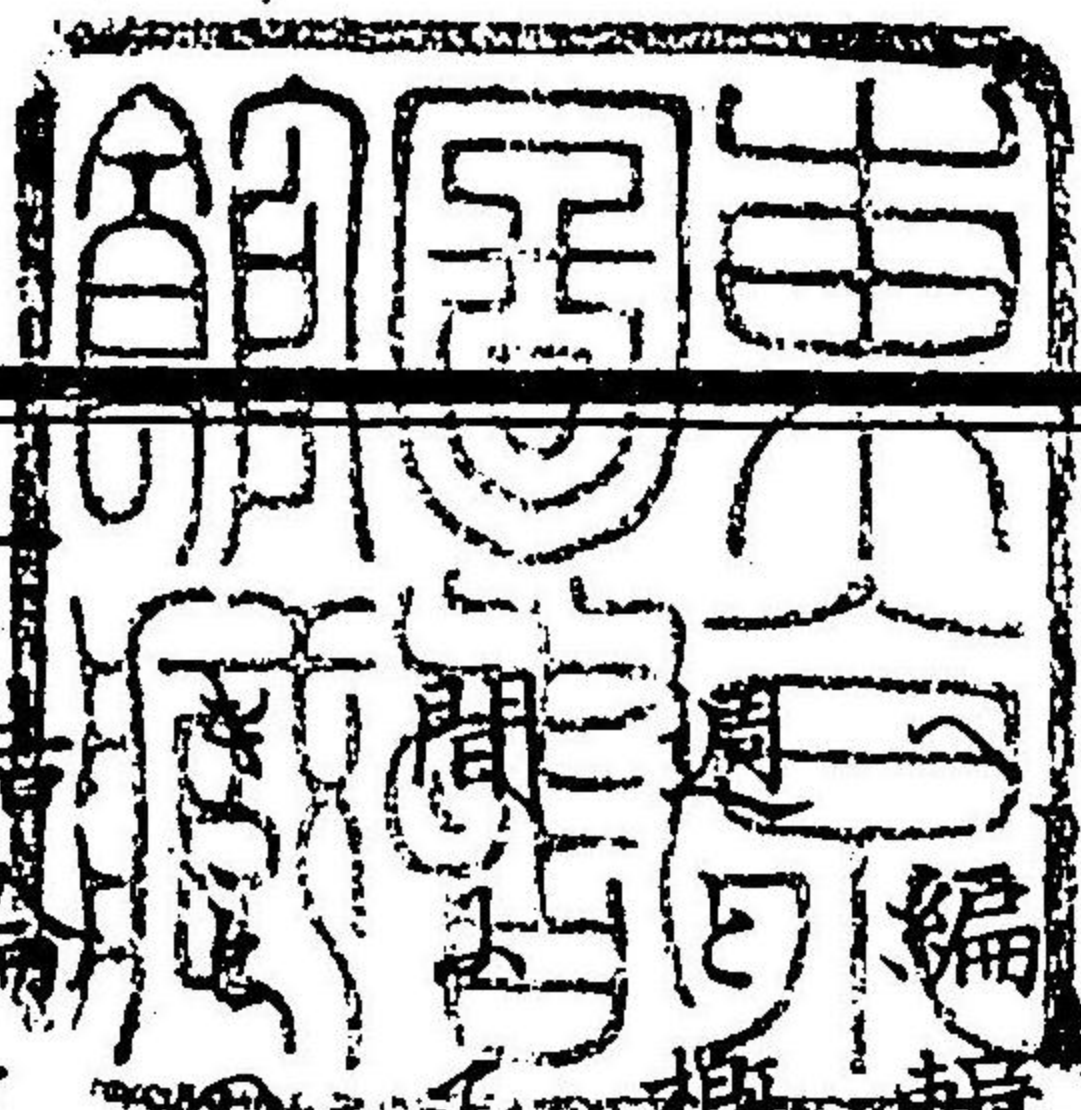
特31
262

大阪府地誌略

例言

一此書ハ實際教授の便利と、生徒の能力とを考へ編輯せしものふして、其教授時日を凡十八週と概算し、一週二時間を以て授け、三十六時間ふて終る。故に一時間ふ凡一葉を教授すべきものとする。

一結論を既し學修せる處を再概括をばし止るものあるを、可成生徒をして答へしむるを要し、其統計上の計算に至りては、生徒の記憶せ



大阪府地誌略

例言

一此書の實際教授の便利と、生徒の能力とを考

編輯せしものよして、其教授時日を凡十八

週と概算し、一週二時間を以て授け、三十六時

間を終る、故に一時間凡一葉を教授とべ

きとのとす。

結論を既し學修せる處を、再概括を以て止る

ものよむ可成生徒をして答へしむるを要

と、其統計上の計算に至りては、生徒の記憶せ



一 みるふ及ぶども、宜しく教授の参考までお談
話せんことを要す。

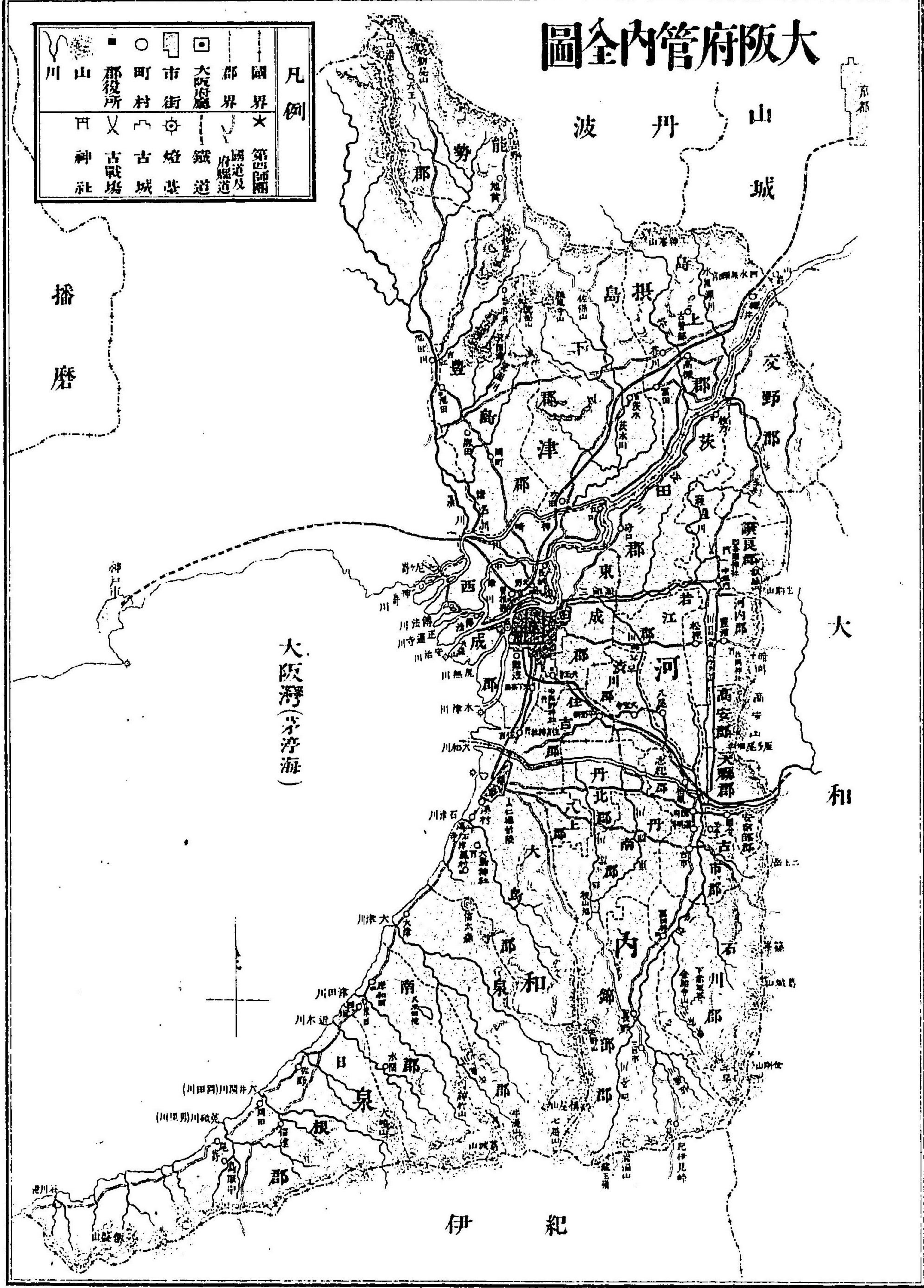
一 人口の明治二十四年七月内務省告示第三十
號による、面積、里數の第二回大阪府治一班の
より、農、工業の係る統計を大阪府第十二回農
工商統計年報による。

一 大阪市に接續せる町村を、便宜による往々各
區の條下に記載せる。

明治二十五年十一月

大阪府管内全圖

| | | | | | | | | |
|---|---|-----|----|----|------|-----|---------|----|
| 川 | 山 | 郡役所 | 町 | 市 | 大阪府廳 | 郡界 | 國界 | 凡例 |
| 川 | 山 | 〇 | □ | □ | □ | — | — | |
| 神 | 社 | 古戰場 | 古城 | 燈臺 | 鐵道 | 府縣道 | 國道及第四師團 | |
| 〇 | □ | 〇 | □ | 〇 | □ | — | — | |



播磨

大阪灣(濠洲海)

伊紀

京都

大

和

山城

丹波

石

川

郡

山

城

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

上

郡

津

西

成

江

丹

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

南

郡

島

下

郡

東

河

丹

北

郡

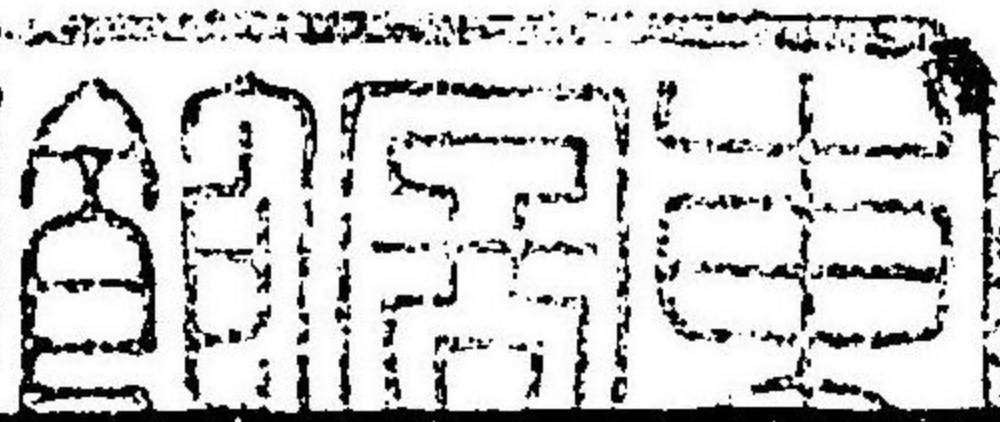
南

郡

大阪府地誌畧

私立大阪教育會編輯

總論



大阪府ハ畿内の西南に位シ。河内、和泉の二國及
攝津の内七郡を管轄ス。北は京都府、東は奈良
縣、南は和歌山縣に、西は兵庫縣と接シ。淡路嶋
とは海を隔テ、相對ス。南北の直徑凡、二十里、東

西の直徑凡、十九里、北より南ニ殆、弦月形をなす。

攝津國 人口八十四萬四千五百五十九
面積三十八方里餘 (兵庫縣を除ク)

攝津國ハ、北ハ丹波山城に、東ハ河内、南ハ和泉

一、境界及區劃

二地勢

山岳
劍尾山

妙見山

西に接し、西南に茅渟海に濱し、西は播磨に界す。國中十二郡あり。能勢、豊嶋、鳴上、鳴下、東成、西成、住吉の七郡を大阪府に屬し、他の五郡、有馬、河邊、武庫、は兵庫縣に屬す。
 北に山岳相連して地高きととも、南に海に臨むを以て漸平低き。東に淀川流通して肥沃なる平野をなす。
 劍尾山又月峯山と云ふ。能勢郡にあり。丹波の境に峙ち、頂上遙に十餘國の海山を望むべし。
 妙見山亦能勢郡にあり。頂上に一堂あり。能勢妙

箕面山

勝尾寺山

見と云ふ、



箕面瀧の面

箕面山を豊嶋郡にあり。其名楓樹を以て著る。又山中に瀑布あり高十一丈。頗壯觀なり。之を箕面瀧と云ひ、下流を箕面川と云ふ。
 勝尾寺山を鳴下郡にあり。箕面山の東北に位す。

神峯山

神峯山ハ嶋上郡ふあり、丹波の界ふ接も、其北方の山岳を本山と云ふ。

鑛山

豊嶋郡池田町の東北止止呂美村ふ鑛山あり、銅、銀を産す。此他能勢郡ふ數坑あり、銀、銅を産す。嶋下郡ふ一坑あり、銅を出す。

河川

國內の諸川、概淀川ふ合して海ふ注ぎ、其河系をなす。沿岸の地を肥沃ふれども、頗低く、時々水害を被る。

淀川

淀川を畿内中の大河ふして、源を近江の琵琶湖ふ發し、河内の西境ふ沿ハ、西南流して攝津國西

水無瀬川及
梶尾川

成郡中嶋村江口ふ至る、西流せる一派を神崎川と云ふ、直流して尼崎ふ至る海ふ注ぐ。本流を尚南流して、豊崎村長柄ふ至る、再西ふ別るを、中津川と云ふ、即古の長柄川なり、其下流、南西の二流とある、南なるを正蓮寺川と云ひ、西あるを傳法川と云ふ、而て本流を尚西南ふ赴き、大阪市を貫流して安治川及木津川となり、遂ふ海ふ注ぐ。水無瀬梶尾の二川を、源を嶋上郡の山間ふ發し、南流して淀川ふ合も、水無瀬川の上流ふ水無瀬、瀧あり、高六丈、下流の地ふ水無瀬、宮あり、後鳥羽、

土御門、順徳の三帝を合祀せる官幣中社あり。○
水無瀬川下流の南ふ嶋本村櫻井あり。即楠公父
子訣別の古驛にして、明治十年碑を立て、其忠烈
を表彰と。

芥川

芥川を丹波の境より來り、南流して嶋上郡ふ入
り、淀川ふ合す。

茨木川

茨木川の嶋下郡ふあり、一源を勝尾寺山ふ、一源
を佐保山ふ發し、南流して諸水を集め、神崎川ふ
合す。

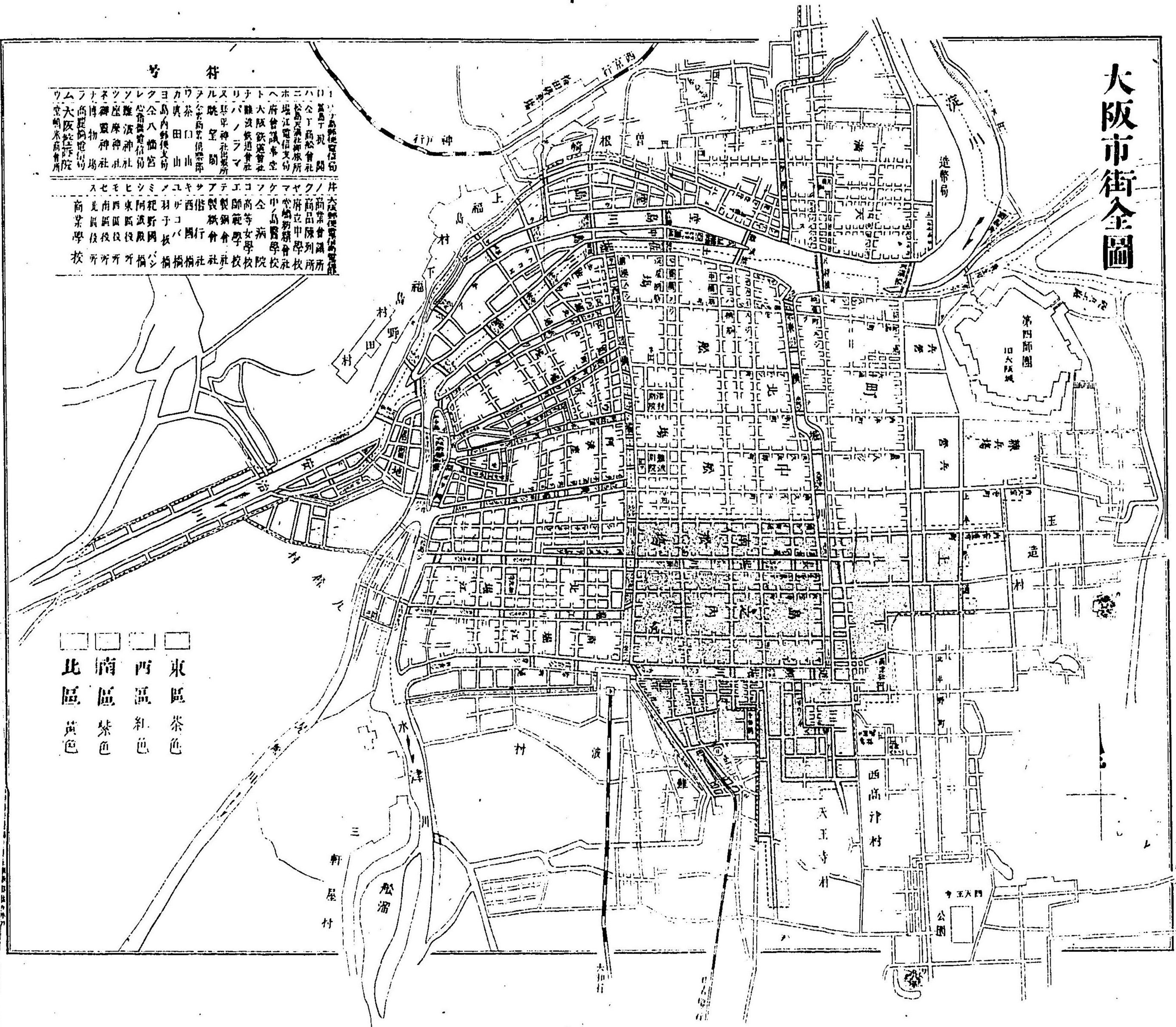
猪名川

猪名川の源を丹波の界ふ發し、能勢郡ふ入りて

大阪市街全圖

| 符 号 | |
|-----|-------------|
| 1 | 大阪府庁 |
| 2 | 大阪府立第一中学校 |
| 3 | 大阪府立第二中学校 |
| 4 | 大阪府立第三中学校 |
| 5 | 大阪府立第四中学校 |
| 6 | 大阪府立第五中学校 |
| 7 | 大阪府立第六中学校 |
| 8 | 大阪府立第七中学校 |
| 9 | 大阪府立第八中学校 |
| 10 | 大阪府立第九中学校 |
| 11 | 大阪府立第十中学校 |
| 12 | 大阪府立第十一中学校 |
| 13 | 大阪府立第十二中学校 |
| 14 | 大阪府立第十三中学校 |
| 15 | 大阪府立第十四中学校 |
| 16 | 大阪府立第十五中学校 |
| 17 | 大阪府立第十六中学校 |
| 18 | 大阪府立第十七中学校 |
| 19 | 大阪府立第十八中学校 |
| 20 | 大阪府立第十九中学校 |
| 21 | 大阪府立第二十中学校 |
| 22 | 大阪府立第二十一中学校 |
| 23 | 大阪府立第二十二中学校 |
| 24 | 大阪府立第二十三中学校 |
| 25 | 大阪府立第二十四中学校 |
| 26 | 大阪府立第二十五中学校 |
| 27 | 大阪府立第二十六中学校 |
| 28 | 大阪府立第二十七中学校 |
| 29 | 大阪府立第二十八中学校 |
| 30 | 大阪府立第二十九中学校 |
| 31 | 大阪府立第三十中学校 |
| 32 | 大阪府立第三十一中学校 |
| 33 | 大阪府立第三十二中学校 |
| 34 | 大阪府立第三十三中学校 |
| 35 | 大阪府立第三十四中学校 |
| 36 | 大阪府立第三十五中学校 |
| 37 | 大阪府立第三十六中学校 |
| 38 | 大阪府立第三十七中学校 |
| 39 | 大阪府立第三十八中学校 |
| 40 | 大阪府立第三十九中学校 |
| 41 | 大阪府立第四十中学校 |
| 42 | 大阪府立第四十一中学校 |
| 43 | 大阪府立第四十二中学校 |
| 44 | 大阪府立第四十三中学校 |
| 45 | 大阪府立第四十四中学校 |
| 46 | 大阪府立第四十五中学校 |
| 47 | 大阪府立第四十六中学校 |
| 48 | 大阪府立第四十七中学校 |
| 49 | 大阪府立第四十八中学校 |
| 50 | 大阪府立第四十九中学校 |
| 51 | 大阪府立第五十中学校 |
| 52 | 大阪府立第五十一中学校 |
| 53 | 大阪府立第五十二中学校 |
| 54 | 大阪府立第五十三中学校 |
| 55 | 大阪府立第五十四中学校 |
| 56 | 大阪府立第五十五中学校 |
| 57 | 大阪府立第五十六中学校 |
| 58 | 大阪府立第五十七中学校 |
| 59 | 大阪府立第五十八中学校 |
| 60 | 大阪府立第五十九中学校 |
| 61 | 大阪府立第六十中学校 |
| 62 | 大阪府立第六十一中学校 |
| 63 | 大阪府立第六十二中学校 |
| 64 | 大阪府立第六十三中学校 |
| 65 | 大阪府立第六十四中学校 |
| 66 | 大阪府立第六十五中学校 |
| 67 | 大阪府立第六十六中学校 |
| 68 | 大阪府立第六十七中学校 |
| 69 | 大阪府立第六十八中学校 |
| 70 | 大阪府立第六十九中学校 |
| 71 | 大阪府立第七十中学校 |
| 72 | 大阪府立第七十一中学校 |
| 73 | 大阪府立第七十二中学校 |
| 74 | 大阪府立第七十三中学校 |
| 75 | 大阪府立第七十四中学校 |
| 76 | 大阪府立第七十五中学校 |
| 77 | 大阪府立第七十六中学校 |
| 78 | 大阪府立第七十七中学校 |
| 79 | 大阪府立第七十八中学校 |
| 80 | 大阪府立第七十九中学校 |
| 81 | 大阪府立第八十中学校 |
| 82 | 大阪府立第八十一中学校 |
| 83 | 大阪府立第八十二中学校 |
| 84 | 大阪府立第八十三中学校 |
| 85 | 大阪府立第八十四中学校 |
| 86 | 大阪府立第八十五中学校 |
| 87 | 大阪府立第八十六中学校 |
| 88 | 大阪府立第八十七中学校 |
| 89 | 大阪府立第八十八中学校 |
| 90 | 大阪府立第八十九中学校 |
| 91 | 大阪府立第九十中学校 |
| 92 | 大阪府立第九十一中学校 |
| 93 | 大阪府立第九十二中学校 |
| 94 | 大阪府立第九十三中学校 |
| 95 | 大阪府立第九十四中学校 |
| 96 | 大阪府立第九十五中学校 |
| 97 | 大阪府立第九十六中学校 |
| 98 | 大阪府立第九十七中学校 |
| 99 | 大阪府立第九十八中学校 |
| 100 | 大阪府立第九十九中学校 |
| 101 | 大阪府立第一百中学校 |

東區茶色
 西區紅色
 南區紫色
 北區黃色



三、海岸

諸水と合し、池田町の西を流れて池田川と呼び、伊丹町の東に至りて伊丹川と呼ぶ。下流二分し、東あるを猪名川と云ひ、西あるを藻川と云ふ。各南流して神崎川に合す。

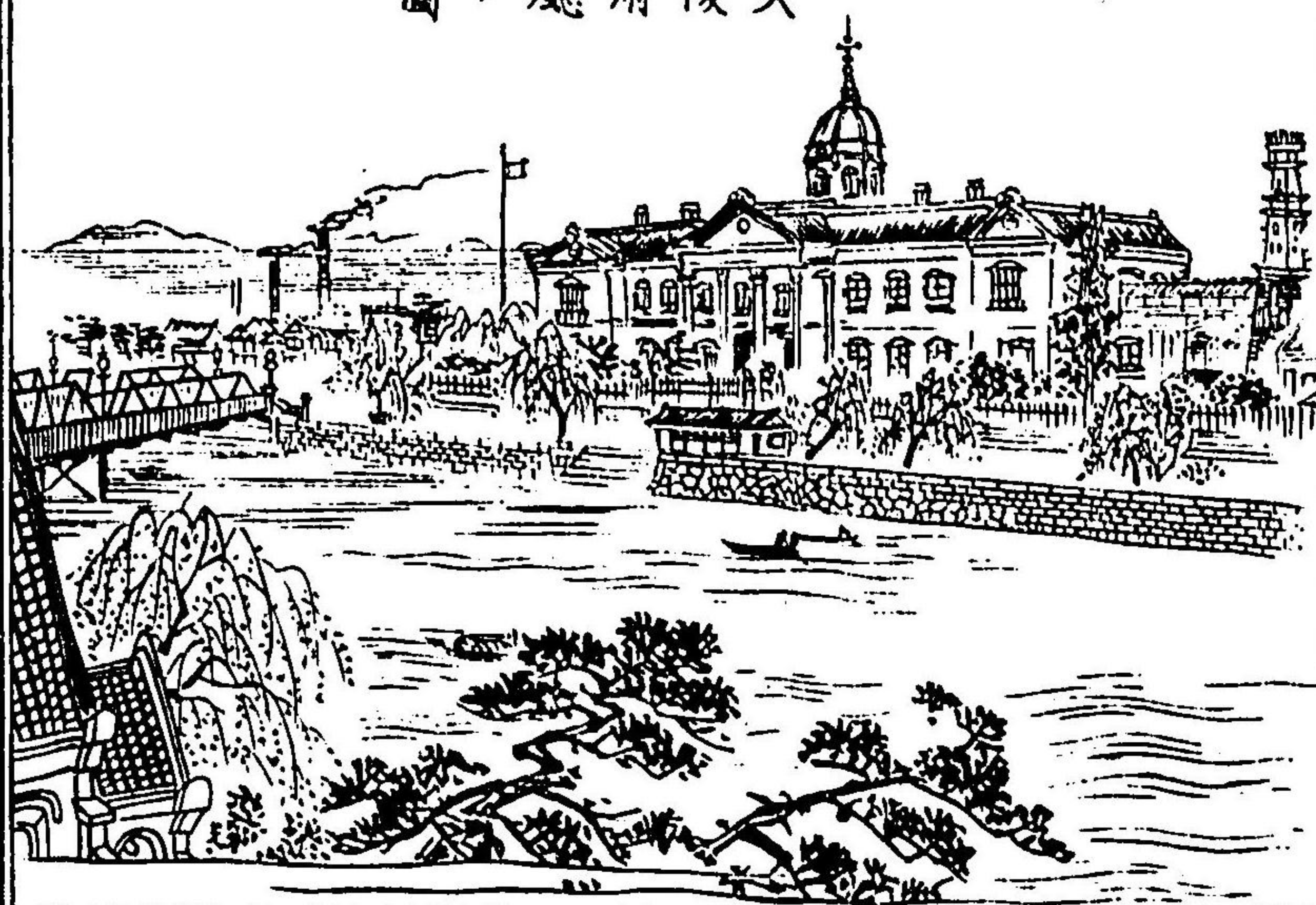
海岸は曲折少く、雖、安治川、木津川等の諸川、海に注入せるを以て、船舶の出入絶ゆる時なく、交通最便あり。安治川口は天保山あり、燈臺を設く。木津川口も亦燈臺あり。

大阪市を我邦第二の都會にして、攝津國にあり、大阪灣頭に近く、淀川の左右に跨り、溝渠四方に

四、市邑

1. 大阪市

大阪府廳圖



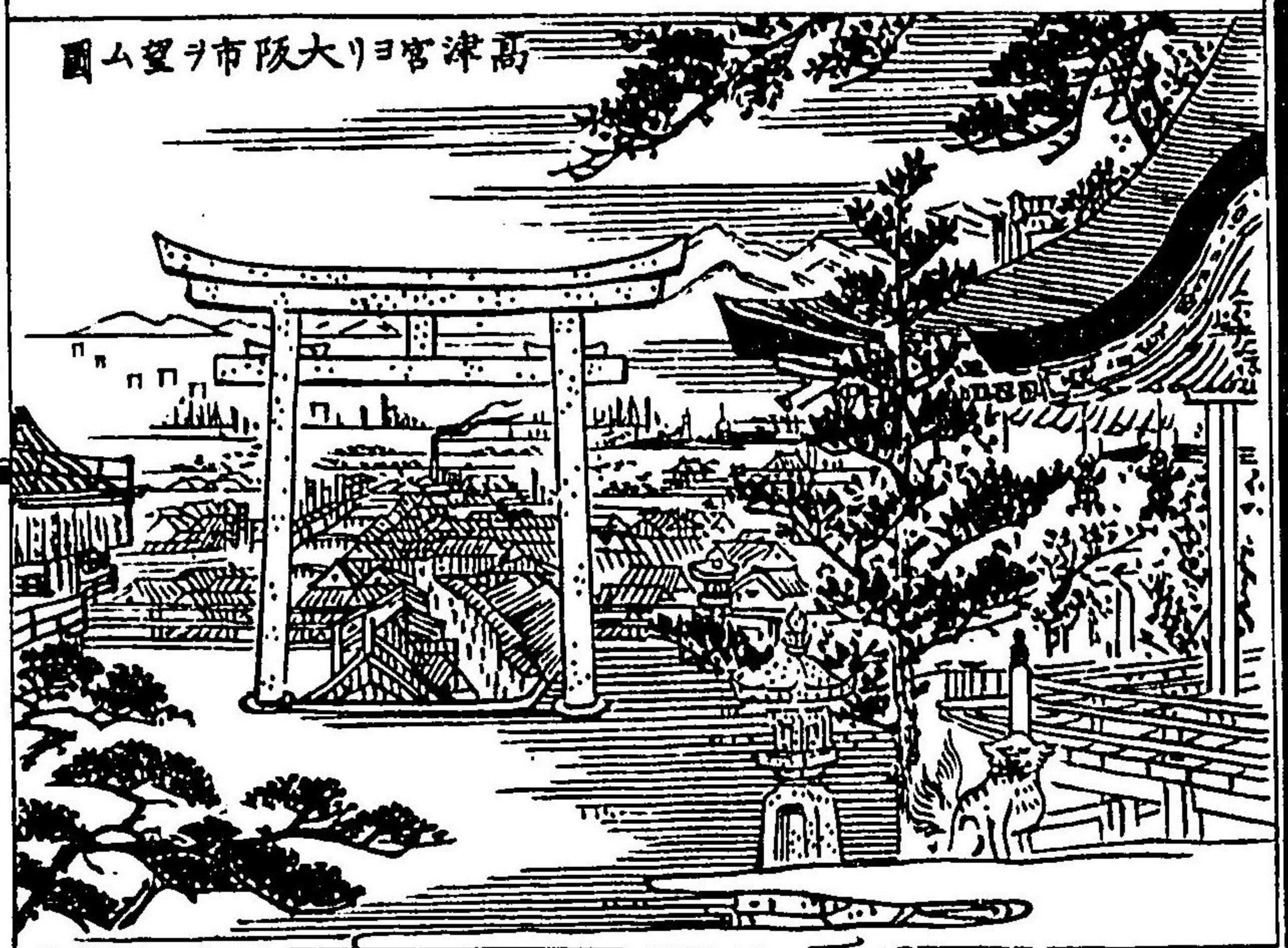
通下。運輸最便利を極め、商業甚盛あり。土地平みして東方を稍高し。全市を四區に分つ。
（西區）東は西横堀川、北は土佐堀川を限り、南は難波村、西は九條村、三軒屋村、安治川を接し、地平みして河渠四方に通下。運輸極めて便利なり。○大

大阪府廳は江子嶋あり。建築甚壯大なり。府會議事堂は其近傍あり。其西を流るる木津川みして西岸に外國人居留す。○大阪郵便電信支局此地あり。堀江に大阪電信支局あり。府廳の東北に雜喉場と云ふ所あり。毎日魚市を開き頗繁盛あり。市内多くて魚類を此に仰ぐ。○西横堀川の西岸に陶器商、西長堀の材木店、靴の干魚舗等の如き、共有名なり。
（南區）東南は東成及西成の諸村に連り。西は西横堀川を以て、西區に界し。北は内安堂寺町及順慶

町通を以て東區に接し、土地東方に稍高し。○道頓堀川の南岸に大阪鐵道會社あり、是より大和國に通ず、其東南に難波停車場あり、阪堺鐵道の停車場なり、近來此近傍次第に繁盛し赴く。○道頓堀の芝居千日前の興行物を、共々有名にして市中第一雜沓の地あり、其南に當りて眺望閣及商業俱樂部あり、共々庶人の遊覽に供す。高津宮を道頓堀の東にあり、仁徳天皇を祀る、土地高きを以て眺望に宜し。○其南に生國魂神社あり、官幣大社とも、其東南に當りて四天王寺あり、

聖徳太子の遺蹟に係る。境内頗廣く、今に公園とも、其五重塔は高く雲を聳はたり。○四天王寺の西に茶臼山あり、東に御勝山あり、大阪の役、徳川氏の陣せし所あり、今府立農學校を設く、規模頗廣大あり。鳴内を、南に道頓堀川より

高津宮ヨリ大阪市ヲ望ム



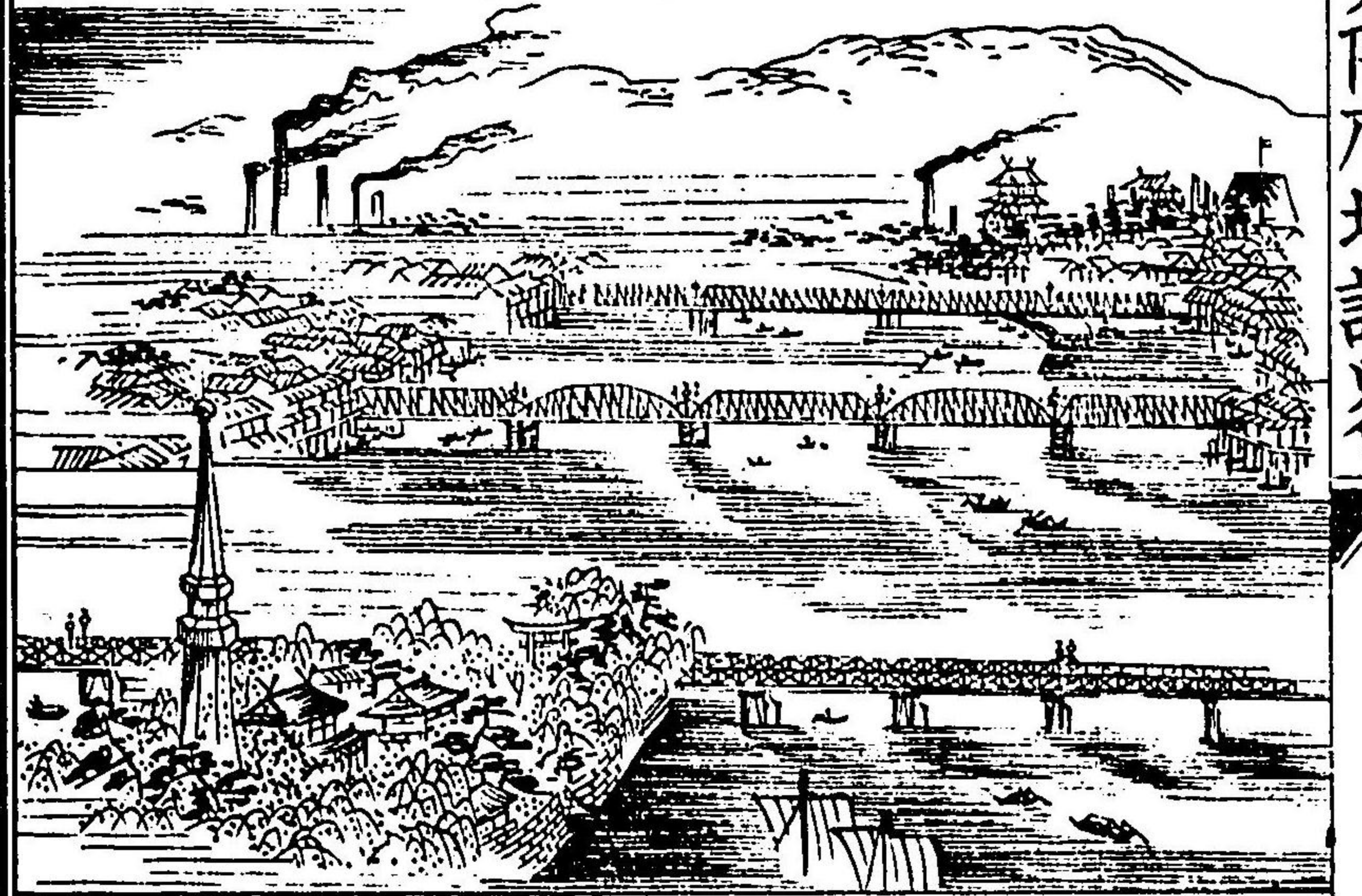
北を長堀川を限り、東を東横堀川より、西を西横堀川に至る。自鳴形をなす。此地は大阪郵便支局あり。○長堀川と西横堀川と交る所は、四橋を架す。其地は煙管を取賣る商舖あり。最有名なり。○四橋より東をれむ心齋橋は出づ。心齋橋筋は商賈軒を連ね、最繁盛の街衢あり。○鳴内の北、東區の界を限りて、南船場と稱す。

(東區)西は西横堀川を以て西區の界、南は順慶町及内安堂寺町を限りて、南區に隣り、北は淀川並み土佐堀川を隔て、北區に對し、東は東成の

諸村に連る。地平なまど、東横堀川より東は頗高爽あり。○大阪城を豊臣秀吉の築く處にして、堅固を以て我邦第一と稱す。今を第四師團を置き、城外に兵營及練兵場あり。○砲兵工廠を城北にあり、兵器を作る所なり。偕行社も亦城北にあり。陸軍將校の會する所あり。○城南に真田山あり。其近傍の地は桃樹多く、花時遊人群集を、俗に桃山と云ふ。

淀川に架する三大橋を天満天神及浪華とす。天満橋は長百十七間、天神橋は長百三十一間、共

中ノ島ヨリ大坂城ヲ望ム



壯麗驚くべし。兩橋の間
を八軒屋と稱し。小蒸氣
船三十石船の伏見へ往
來とる所あり。此所大
阪郵便電信局あり。高麗
橋東詰及心齋橋北詰小
大阪電信支局あり。○東
横堀川に架せる鐵橋を
高麗橋と云ふ。即府下の
里程を量る元標とす。川

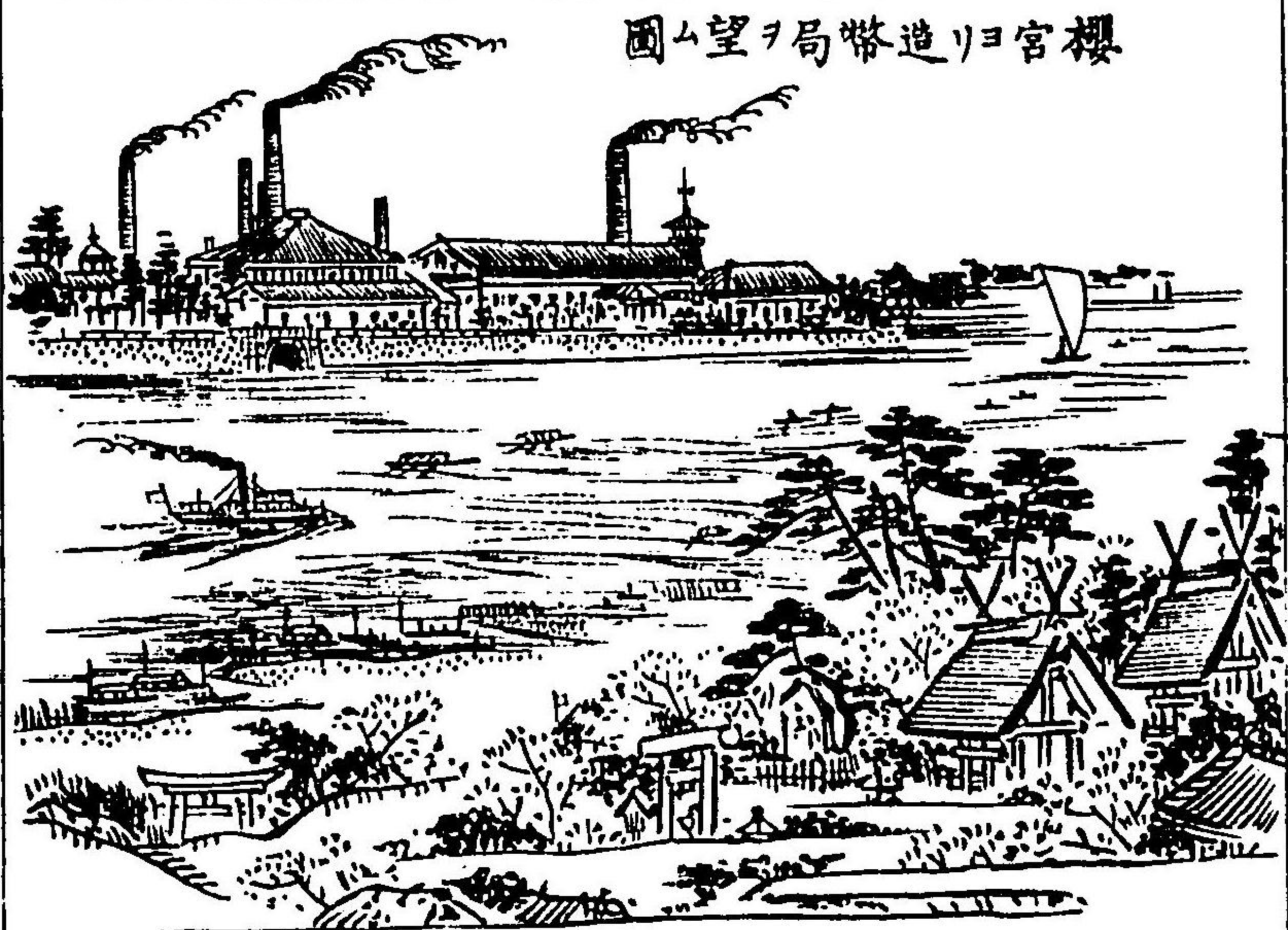
の東岸に博物館あり。種々の物品を蒐集して庶
人の縦覧に供し。或は其需に應ず。
西横堀川の東に二大寺あり。北あるを津村別院
と云ひ。南あるを難波別院と云ふ。共に京都兩本
願寺の掛所あり。○座摩御靈稻荷の三社も亦川
の東にあり。共に有名の神社なり。
船場の兩横堀川の間あり。北に淀川土佐堀川
に至る。豪商最多き所あり。殊に高麗橋通及今橋
通にて。銀行會社等多く。道修町に藥舗相列び
て商業盛なり。

(北區)東を淀川其界を環す。相生野田網嶋の三街。東端ふ斗出ず。北に西成郡の諸村に接し。西を安治川の兩岸に沿ひて西に延ぶ。○砲兵工廠の北に寢屋川あり。京橋を架す。京都に赴く街道あり。此川天満橋の下に於て淀川に合す。而て淀川を天神橋の下五六町の所に於て。土佐堀川及堂嶋川の二流となれり。其間に中嶋ありて。東端に於て兩川に橋を架す。共み浪華橋と稱す。造幣局を淀川の西岸にあり。貨幣を鑄造する所ありて。其宏大なること。外國にも比なると云ふ。

○中嶋に醫學校、病院、高等女學校、師範學校あり。堂嶋に中學校及商業學校あり。中學校の東隣を商品陳列所及商業會議所とす。大阪控訴院を堂嶋川の北岸にありて。建築壯麗なり。○天神橋の北詰に青物の市場あり。頗繁盛なり。○中嶋に製銅會社及製紙會社あり。堂嶋に米商會所及紡績會社あり。米商會所を米穀の賣買頗盛なり。○富嶋を安治川の南岸にあり。又川口とも稱す。船舶の出入する所ありて。税關商船會社あり。淀川の東堤に櫻宮あり。櫻樹を植う。又造幣局の

庭中にも櫻樹あり。東西相對し。花時の風景最宜し。櫻宮ハ東成郡に屬す。其北都鳴みやハ大阪水道の水取場所也。○造幣局の西ハ天満神社あり。管公を祀る。故ハ此地を天満と稱し。天満、天神二橋の名亦之ハよる。○中嶋の東端ハ豊國神社、明治紀

櫻宮ヨリ造幣局ヲ望ム



念碑あり。此地を公園とす。四時散歩するもの多し。○堂嶋の北ハ總べて西成郡ハ一ツて曾根崎村梅田うめだハ停車場あり。東海道鐵道の汽車毎日發着す。其傍ハ大阪郵便電信局電信部あり。○北野村きたのハ太融寺、凌雲閣及遊園地あり。遊覽するもの多く。漸繁盛ハ赴く。

(略史)大阪の地ハ、大古荒漠たる蘆原ハ一ツて神武天皇の日向より東征し玉ひし時ハ、風烈しく浪荒けきむ。浪速の國と名け玉へり。後、仁徳天皇此地ハ都一玉ひ、一日高臺ハ登り、人烟の稀あるを

見て、三年の租税を免し玉ひしこと人を知る處あり。又秋の夜ふ、皇后と共に菟餓野の鹿の鳴くを聞き玉ひしことあり。菟餓野と今の天満ふと云ふ。其頃の状況想ふべし。孝徳天皇も長柄ふ都し玉ひしことあり。長柄を天満の北ふ當たり。此後又至りて豊臣秀吉茲ふ城を築きてより。漸繁盛となり。今の東京ふ次げり大都會ふして。京都を合せて三都と稱す。池田町を豊嶋郡ふあり。古、吳服の里と云へり。能勢街道ふ當り。大阪を距る五里餘。市街繁盛なり。

2. 池田町及地黄

3. 麻田村及岡町

4. 高槻村

郡役所あり。能勢、豊嶋二郡を管す。此地造酒家多く。伊丹と共に其名高し。又木炭及種樹を大阪へ輸し。花卉の如きは近時海外へ出ても至り。○町の北方池田山の半腹ふ大廣寺あり。頗壯麗なり。○東郷村地黄を能勢郡ふあり。池田町より凡五里。丹波の道路ふ當り。麻田村及豊中村岡町を豊嶋郡ふあり。共に能勢街道の驛路ふして。農商雜居の地あり。高槻村は嶋上郡ふあり。大阪より凡十三哩の北ふ當り。東海道鐵道線路の一驛あり。永井氏の舊

領地ふして城址今尚存也。○北方ふ古曾部山あり。陶器を産也。

5. 茨木村及富田村

茨木村ハ鳴下郡ふあり。又鐵道の驛路ふ當也。大阪より凡九哩。郡役所あり。鳴上、鳴下二郡を管也。○茨木及高槻の間ふ富田村あり。東ふ芥川村あり。共ふ鳴上郡ふ屬也。工、商雜居の地あり。

6. 吹田村

吹田村ハ大阪と茨木との間ふある一驛ふして。鳴下郡ふ屬す。大阪まで凡五哩。其西の山ふ桃樹多く。花時遊人群集也。

7. 曾根崎村及難波村

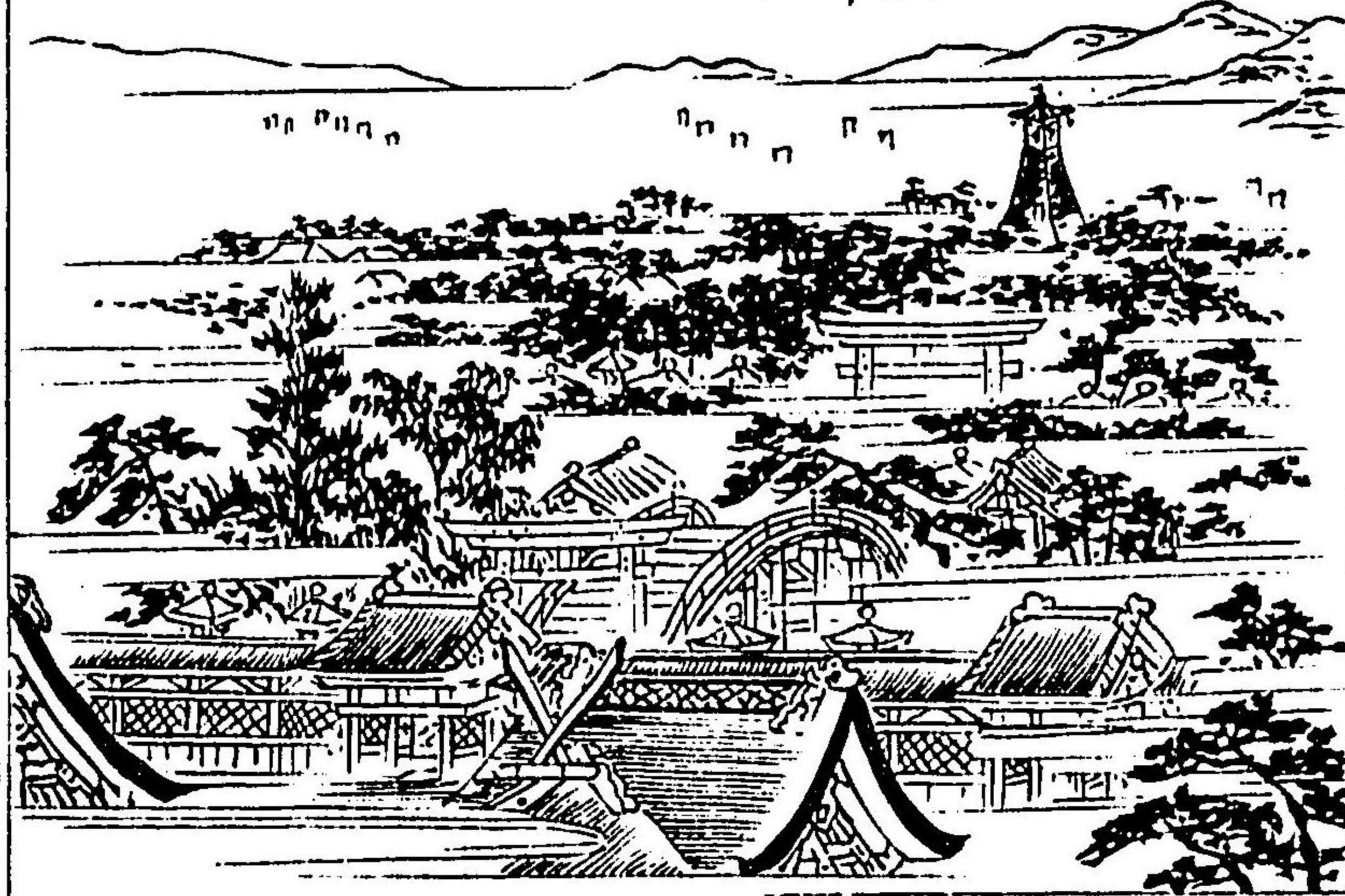
曾根崎村及難波村ハ共ふ西成郡ふ屬也。傳法、福

8. 天王寺村

嶋、野田等の諸村と相連りて。大阪の北、西南の三面を圍む。曾根崎ハ北ふ位し。大阪停車場あり。難波ハ南ふ位し。阪堺鐵道の停車場あり。又曾根崎村ふ郡役所あり。西成郡を管也。天王寺村ハ東成郡ふあり。東平野町、玉造村及西高津村と共ふ大阪の東方を圍む。郡役所あり。東成、住吉の二郡を管也。村の南方ふ停車場あり。湊町を距る凡二哩。○天王寺停車場より。東三哩ふ平野郷町あり。住吉郡ふ屬し。工、商雜居の地とす。紡績會社あり。又念佛寺ハ有名の寺院あり。○天

9. 墨江村

住吉神社境内日松原望山



下茶屋天王寺村に屬す。難波停車場より凡二哩。住吉を経て堺に至る道に當り。○其近傍を阿部野と云ふ。昔北畠顯家公の戦死せし所にて、別格官幣社阿部神社と公を祀る處あり。墨江村住吉郡にあり。官幣大社住吉神社と社

五、生業

殿壯麗にして蓮池も反橋を架と。境内より一帯の松林海濱に連る。其盡くる所も高燈籠ありて風景頗宜し。今之を公園とも、停車場あり。是より堺まで三哩も過ぎず。

大阪市も古來商業繁盛の地にして。我邦商業の中心と稱す。工業も亦近來益盛にして。市内及接近町村も。到る處製造所の設ありて。烟筒林立せり。郡部に至りては農業に従事するもの多し。商工の繁盛の地も雜居せり。

六、産物
農産物

農産物も米、麥、綿、藍、菜種、桑、烟草、甘藷、大豆、蠶豆、蘿

2. 製造品

葡萄、蕪菁、胡蘿蔔、葱、蜜柑、柿、桃、西瓜等ふして、住吉郡の綿、甘藷、東成、西成二郡の蔬菜類、嶋下郡の桃、豊嶋郡の蜜柑も有名なる。○製造品の著明なるもの、綿布、綿糸、絞油、酒、煉瓦、燐寸、硫酸、寒天、玻璃、陶器等ふして、大阪市の如き、殆ど諸種の製造あらざるなく、就中紙、綿糸、唐木細工、藤細工、燐寸、手拭、石鹼、團扇等を有名とす。又能勢、嶋下、嶋上の山地ふして、寒天を製し、豊嶋郡の池田町を酒を以て著る。○鑛山も豊嶋、能勢の山中に數坑あり、嶋下郡に一坑あり、銅及銀を産す。○能勢の山地より

3. 鑛物及材木

4. 水産物

用材及薪炭を出す。材木も松、杉等あり。○攝津の海岸も漁場も充つべき所多し、兵庫縣も屬し、從ひて水産物少し。只沿岸に海藻類あるのみ。而て淡水産の魚類も、淀川及其他諸川に於て、鯉、鯽、鰻等を産す。

七. 氣候及地味

氣候概溫和なれども、山間の地も稍寒し。大阪も盛夏も雖九十四五度を過ぎず、酷寒も雖三十度を下ること稀あり。故に寒暖共に凌ぎ易く、植物の生育最宜し。他の地方も大阪と大差なし。大阪の人を稍華奢を好むの風あり、然もども商

八. 人情及風俗

一、境界及區劃

二、地勢

業み巧みして巨萬の富を致ももの多し。○繁盛の地を風俗大阪み類し。人情頗温順あり。村落み至りて。極めて質朴みして愛もべき風あり。

河内國 面積四十三万七千三百九十六

河内國を北に山城み、東に大和み、西に攝津、和泉み、南に紀伊み隣も。國中十六郡あり。交野、讚良、茨田、河内、若江、高安、澁川、大縣、安宿部、古市、志紀、丹北、丹南、八上、石川、錦部と云ふ。東南に山脈を擁して地高く、淀川を西北を繞り、大和川を中央を貫く。故に山地を除く外、概低平

山岳 飯盛山

生駒山

にして最肥沃なり。飯盛山を讚良郡みあり。山上み城址あり。山麓み別格官幣社四條畷神社あり。即ち小楠公を祀る處みして、公の墓に甲可村にあり。社と相距ること僅み數町み過ぎず。生駒山も亦讚良郡みあり。大和み通ざる坂路あり。

四條畷神社小楠公墳墓



神祇正行朝臣之墓

河内郡枚岡村豊浦より閻峠を越ゆ。傳へ云ふ古の孔舎衙坂ありと、豊浦の南に官幣大社枚岡神社及瓢葦山あり。

高安山

高安山又鉢伏山と云ふ、高安郡山岳の總稱ふて、北に生駒山より、南に雁多尾畑山に連る。満山樹木少しと雖、溪水二十二流あり、皆西流して灌漑に便あり。又大和に越ゆる坂路あり。○雁多尾畑山に氷室の蹟あり、仁徳天皇の時始めて設くる所なりと云ふ、大縣郡に屬す。

葛城山

葛城山を石川郡ふ阿賀二上岳より、東南千早峠

に接する。一帯の山岳を稱するものふして、其東南隅に屹立せるを金剛山と云ひ、其北にあるを篠峰と云ふ。金剛山を國中第一の高山ふして、満山樹木繁茂し、山腹に楠氏の東軍を防ぎし有名の千早城址あり。

岩湧山

岩湧山に錦部郡にあり、絶壁削るが如く、山脈金剛山より來り、南に紀伊に跨る。是より東走せる支脈中に金胎寺山あり、建武中、楠氏の城を築きし處あり、其南なる觀心寺の傍に、後村上帝の陵及楠公の首塚あり。○支脈の北に羽曳山あり、又羽

曳野と云ふ。金山平延ふして矮松繁茂し。風景絶佳の地あり。

藏王嶺

藏王嶺又蛇尾嶺と云ふ。亦錦部郡ふあり。岩湧山の接續ふして紀伊ふ跨る高山なり。

天野山

天野山も亦錦部郡ふあり。山中の金剛寺へ。楠氏の南帝を奉じて。北軍を拒ぎし處あり。後村上天皇觀月の殿閣今尚存也。

2. 河池

河内の北部及中部の諸川ふして。大和川以北ふあるものも。皆淀川ふ合し。其河系をふし。以南ふあるものも。概大和川ふ合し。其河系をふす。

天川

天川も交野郡ふあり。源を讚良郡ふ發し西流して枚方町の北を過ぎ。淀川ふ合也。

寢屋川

寢屋川の源を交野郡ふ發し。讚良、茨田二郡の地を繞り。恩智川及古大和川等と合し。大阪市ふ入る淀川ふ合す。

恩智川

恩智川の源を大縣郡ふ發し。高安郡ふ入り。河内郡を經。其間諸水と合し。高安郡ふ入るて寢屋川ふ合す。

古大和川

古大和川の源を大和川の築留樋ふ發し。若江郡ふ入る二川と成り。各西北流して寢屋川ふ合也。

大和川

大和川を大和より來り、安宿部大縣二郡を界し、志紀郡み入り、石川を合せ、丹北郡を貫き、狹山池より、發する東除西除二川と合一、攝津和泉兩國の間を流きて、堺の北を過ぎ、海に注ぐ。此川を畿内第二の大河まれども、平時の水少く、砂礫を現し、只霖雨み大水を見るのみ。此分流み十三間川あり、西成郡み入りて、木津川み合す。

西條川

西條川の源を錦部郡み發し、北流して石川郡み入り、佐備川と合一して北流し、東條川み合す。

東條川

東條川の源を石川郡み發し、富田林村の東北み

於て、佐備川と合一、石川と成り、北流して古市郡み入り、諸水と合一して安宿部志紀兩郡を界して、大和川み合す。

狹山池

狹山池を丹南郡の南部みあり、天野今熊の二水を受く。崇神天皇の時、灌漑の爲み掘らせ玉ひし處みして、丹南丹北八上の三郡に、尚其餘惠を蒙る。○池み臨みて、狹山村あり、北條氏の舊領地たり。

三市邑

枚方町
守口町

枚方町を茨田郡みあり、大阪を距る北の方五里餘、淀川沿岸の地みして、京都街道み當り、商店旅

2. 八尾村及久寶寺村

家軒を列べ。水陸の運輸最便利なり。郡役所あり。交野、茨田、讚良三郡を管す。○淀川の水利を興ふるに多けども、亦其害を及ぶことも少からず。明治十八年河水大漲、堤防為破れ、頗る慘状を極めたり。○守口町の枚方町より、大阪に至る間の驛路ありて、亦茨田郡に屬す。八尾及久寶寺の兩村に、相距ること僅に數町。八尾を若江郡に、久寶寺を澁川郡にあり、共大阪を距る凡、四里。農商雜居せる繁盛の地あり。八尾の郡役所あり。丹北、河内、高安、若江、大縣、澁川の六

3. 國分村

郡を管す。八尾に大信寺あり。久寶寺に顯證寺あり。共壯大なる寺院あり。八尾停車場を平野を距る凡、三哩。柏原を距る凡、四哩あり。國分村を安宿部郡にあり。大阪を距る凡、六里。大和に通ずる街路に當り。柏原停車場より僅に數町に過ぎず。○村の西方に玉手山あり。山頂平坦ありて眺望に宜し。菜花の候遊人頗る群集す。道明寺村を石川を以て。國分村と相隔つ。志紀郡にあり。菅廟及野見宿禰の祠あり。○更南に十餘町ありて古市郡古市村に至る。應神天皇の陵あり

4. 道明寺村及古市村

了。此邊山陵其他舊跡尚多し。近傍に日本武尊の陵あり。即ち白鳥三陵の一とす。

5. 富田林村及三日市村

富田林村は石川郡にあり。東高野街道に當り。大阪を距る凡七里。郡役所あり。石川八上、古市、安宿部、錦部、志紀、丹南の七郡を管す。○南に進むこと三里許にして三日市村あり。高野街道を東西二線あり。茲に至ると一とある。故に往來繁く旅店亦多し。西街道を堺を経て大阪に出づ。里程凡九里。三日市村は錦部郡に屬す。

四、生業

人民稍集合せる地にあり。商業に從事する

五、産物
1. 農産物

ものありと雖、概し農業を勉む。女子は紡織及製茶を業とせるものあり。

2. 製造品

土地頗肥沃にして最農産物に富む。就中米、麥、蘿蔔、蠶豆、甘蔗、綿、菜種、梨、柿、桃、桑、茶、松茸等を主要なるものとす。殊に交野、志紀、若江、澁川の綿、交野の茶、錦部、石川の柿、若江の桃を産出多し。○製造品の主要なるものに綿布にして、高安、丹北、錦部等に殊に産出多し。又到る處之を製し。河内木綿と稱して其名最高し。○山地に材木及薪炭を出し。古市、石川兩郡より金剛砂を出す。○諸川より

3. 材木及鑛物

4. 水産物

鯉、鯽、鰻、鱒等を産す。殊に茨田及讚良の諸流を最とす。

六 氣候人情及風俗

氣候温和にして山地に稍寒し。○風俗一般に質朴にして、大阪に近き處に、稍人情を同うともるものあり。

和泉國 人口二十四万六千五百七十二
面積三十三方里餘

一 境界及區劃

和泉國を北に攝津、東に河内、南に紀伊、西に海に濱を、國中四郡あり。大鳥、泉、南、日根と云ふ。

二 地勢

東南を山を負ひ、西北を漸平坦にして海に面す。

土地廣大ならざれども、甚肥沃にして且海岸を魚介の利あり。

7. 山岳
旗尾山

旗尾山を泉郡にあり。河内、紀伊に跨る、其脈大和の國界にあり。葛城山より起る。河内の南を繞り來る。山中に四十八瀧、三十六洞あり。山腹に旗尾寺あり。

七 越嶺及牛瀧山

七越嶺及牛瀧山を共泉郡にあり。旗尾山の南に位を、牛瀧山中に瀑布あり。潭心の巨岩、形卧牛に似たり。故に此名ありと云ふ。山上に楓樹多く、秋冬の候、賞觀するもの多し。

葛城山

葛城山を國中第一の高山ふして。南郡ふあり。山脈七越。牛瀧よて來り。南紀伊ふ亘る。

神於山

神於山を南郡ふあり。久米田池の南ふ孤立を。山麓ふ布引山神於寺あり。山名之ふ依る。

犬鳴山

犬鳴山を日根郡ふあり。絶壁削るが如く。頗有名の高峯あり。山中ふ七瀑布あり。

飯盛山

飯盛山も亦日根郡ふあり。山形飯を盛るふ似たり。故ふ名く。茅渟海上船舶の目標とす。

2. 河池

和泉の諸川を概直ふ海ふ注ぎ。別ふ大河なく。從ひて河系をまもふ至らず。

石津川

石津川を數源を泉郡ふ發し。西流して大鳥郡濱寺村下石津ふ至り。海ふ注ぐ。

大津川

大津川の源を楨尾山ふ發し。西流して泉郡を貫き。牛瀧川を合せ。大津村の南を過ぎて海ふ注ぐ。

津田川

津田川の源を葛城山ふ發し。南郡を貫き。西流して麻生郷村津田ふ至り。海ふ注ぐ。

近木川

近木川を二源を泉郡の山中ふ發し。南郡木島村水間ふ至り。相會して西流し。日根郡ふ入り海ふ注ぐ。

岡田川

岡田川又大井關川と云ふ。日根郡ふあり。源を犬

菟砥川

鳴山ふ發し。西信達村岡田の北を過ぎ、海ふ注ぐ。菟砥川又男里川と云ふ。三源を日根郡の山中ふ發し。東鳥取村鳥取中の北ふ至りて相會し。西流して海ふ注ぐ。

久米田池

久米田池を南郡ふあり。昔僧行基之を造る。神龜二年ふ工を興し。天平十年ふ成ると云ふ。今幾千頃の田圃其利を受く。池ふ近く久米田寺あり。

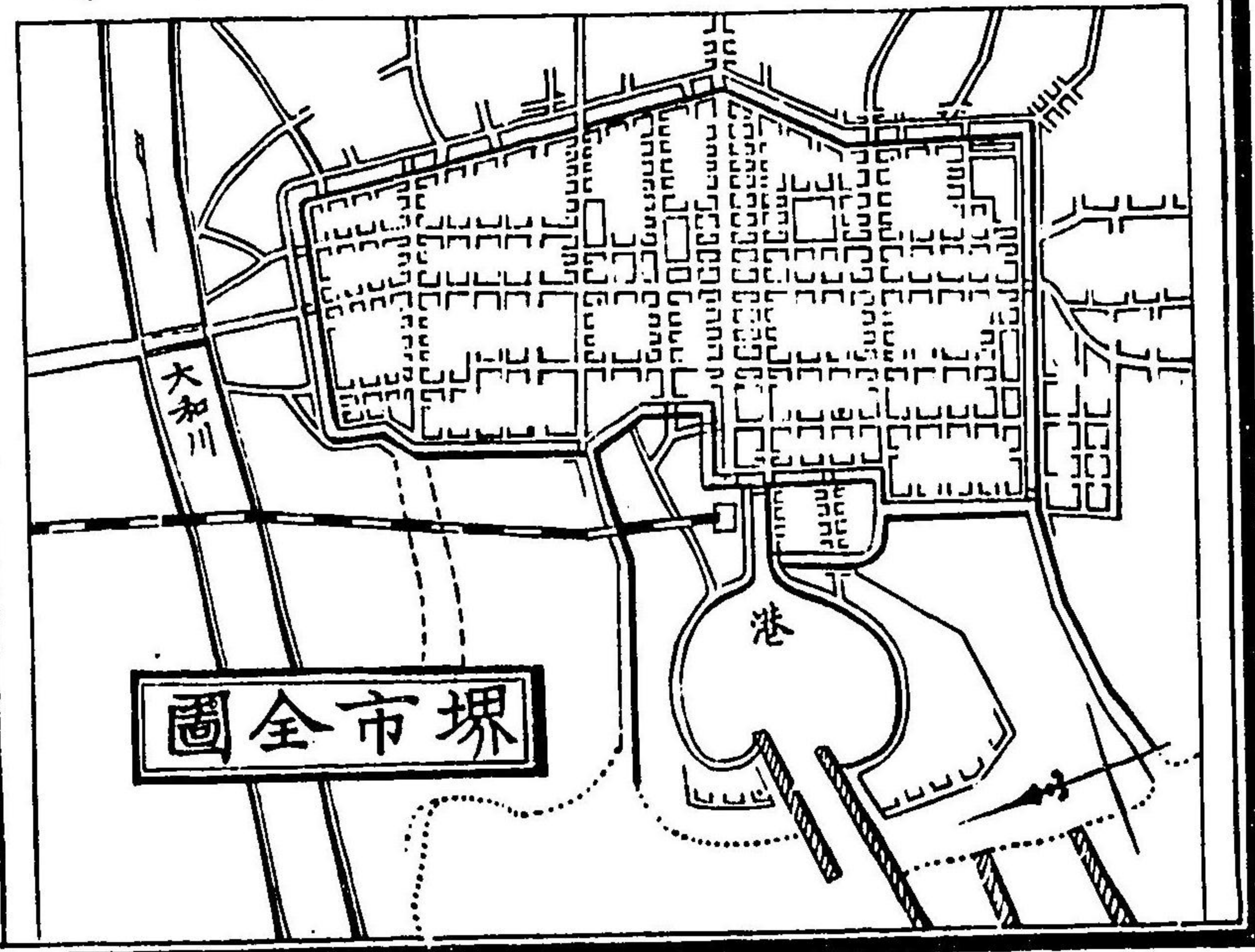
三、海岸

北を大和川口より。南を紀伊の界ふ至るまで。海岸ふ曲折少く。從ひて良港ふ乏し。只堺岸和田谷川の三港あるのみ。諸川皆細小ふして舟を入る

四、市邑
1. 堺市

べきとのふし。堺港ふり燈臺を設く。

堺市を大鳥郡の北隅ふあり。大阪を距る凡、三里。住吉より僅ふ三哩ふ過ぎず。北へ大和川を以て攝津國住吉郡ふ界し。西を海ふ面も。堺港の茅渚海の良港ふして。往時外國との互市場たり。市街



堺市全圖

を北、大和川の沿岸あり。南、湊村に連り凡、一里餘。街衢正しく家屋相列べり。吾妻橋の傍に阪堺鐵道停車場の設ありて、實に海陸の便利を極む。大濱を公園とし、眺望に富む。夏時を納涼、海水浴に適し。秋夜を殊に觀月、宜し。大阪より來遊するもの四時絶ゆることなし。其南に魚市場あり。是より魚類を大阪及大和、河内に輸出す。市中に裁判所、電信分局、市役所、商業會議所、紡績所、精米所、煉瓦製造所等あり。又妙國寺の蘇鏡祥雲寺の五葉松あり。其名殊に高し。市の東南、船松村に仁徳天

湊村及鳳村



仁徳天皇大仙陵

皇の陵あり。湊村は堺市の南に接して人家相連る。大鳥郡に屬す。○濱寺公園は湊村の南にあり。古の所謂高石濱にして風景絶佳の地あり。○其東、鳳村に郡役所あり。大鳥、泉二郡を管す。大鳥神社を官幣大社なり。

3. 大津村

大津村を湊村の南凡二里ふあり。泉郡ふ屬と、紀州街道の驛路たるを以て、人馬常ふ往來す。大津川を即村の南を流きて海に注ぐ。○信太森を泉郡ふあり。古を廣大あり。今を二十間四方許ふ過ぎず。内ふ樟の大樹あり。又葛葉神社あり。其名高し。

4. 岸和田町

岸和田町を堺市ふ次げる繁盛の地ふして、堺を距る凡四里。南郡ふあり。岡部氏の舊領地ふして、城址今尚存し公園とす。郡役所あり。南、日根二郡を管と、岸和田港を町の西ふあり。舟船常ふ出入

5. 貝塚町

す。其南ふを漁家軒を接し、漁業大ふ行る。貝塚町も亦南郡ふあり。岸和田町より僅ふ數町。稍繁盛の地あり。此近傍を近來堺市と共ふ煉瓦の製造漸盛なり。○貝塚町より街道二分し。一を信達村を過ぎて紀伊ふ入る。一を海岸ふ沿ひて佐野村、尾崎村等を過ぎ、多奈川村、谷川を経て紀伊ふ至る。

6. 佐野村、尾崎村、及谷川港

佐野村を日根郡ふあり。貝塚町を距る凡二里。海に濱し朝夕魚市を開く。稍繁華の地あり。○尾崎村を佐野村を距る凡二里。日根郡ふ屬し。亦稍繁

五、生業

盛の地あり。○谷川港と日根郡西南の小港ふりて、多奈川村ふあり。能く風波を避くるふ足る。是より紀伊ふ至る。僅ふ二里ふ過ぎば、商業と堺市最盛ふりて、大阪市ふ次ぎて豪商の住居もは處あり。岸和田、佐野等。又商業ふ従事するもの少からず。而て海ふ濱せる地と。概漁業を事とし。其他と農業ふ従ふ。女子と紡織を勉むるもの亦少からず。農産物と米、麥、菜種、綿、茶、藍、烟草、甘蔗、柿、蜜柑、西瓜、松茸等ふりて、殊ふ大鳥、泉と綿、泉、日根と蜜柑、南

六、産物
農産物及水産物

七、製造品及礦物

七、氣候人情及風俗

日根の柿及茶を以て有名あり。○海岸の魚介の利少からず。殊ふ南、日根と鮫及鯛を以て著る。○製造品と堺市の段通、鍔器及酒と殊ふ有名あり。其他綿布、煉瓦、醬油等を産む。○礦物と日根郡より青石を産むるありのみ。氣候と河内、攝津と大差なく。海ふ面をる地と稍、温暖なり。人情も亦攝津、河内と大差なく。山地ふ近きものと、頗質朴の風あり。堺市の如き、殆大阪市と風俗を同うす。

結論

皆源を東方より發し、西流して海に注ぐ。別な河系をまよみ至らず。

| 名 | 稱 | 管内經過の長さ | 名 | 稱 | 管内經過の長さ |
|------|---|---------|-----|---|---------|
| 淀川 | | 十里廿五町 | 大和川 | | 六里七町 |
| 寢屋川 | | 四里十町 | 石川 | | 七里二町 |
| 天川 | | 三里三十町 | 東除川 | | 二里十八町 |
| 芥川 | | 三里十八町 | 西除川 | | 二里十八町 |
| 分神崎川 | | 四里三十五町 | 石津川 | | 四里廿四町 |
| 中津川 | | 二里廿九町 | 津田川 | | 三里十八町 |
| 木津川 | | 一里廿九町 | 近木川 | | 三里十八町 |
| 大津川 | | 五里十三町 | 岡田川 | | 二里廿四町 |
| 岐牛瀧川 | | 二里十二町 | 菟碓川 | | 二里十八町 |

3. 池沼

河内、和泉の兩國を、到る處池沼あり。河内殊に多く、皆田畝に灌漑をるのみ。大なるは久米田、狭山の二池とを。

三、海岸

| 名 | 稱 | 周 | 回 | 面積 |
|-----|---|------|------|--------|
| 久米田 | 池 | 一里二町 | 三十三町 | 六十三町四反 |
| 狭山 | 池 | 三十三町 | 三十三町 | 三十五町八反 |

北は兵庫縣攝津、國和^{わたの}岬より、南は和泉、國觀^{くわん}音崎に至る内海を茅渚、海或大阪灣と云ふ。而て沿岸曲折少しと雖、攝津の大阪を、諸川貫通して船舶絶えず出入も、和泉の堺港を大阪に次ぎて船舶の出入多しと雖、大船を入るゝに足らず。此他岸和田、谷川兩港の如き、小舟の外碇泊をることも能はず。○燈臺を木津、安治兩河口及堺港に設け、船舶の往來に便す。

四市邑

大阪、堺兩市の外、攝津の天王寺、難波、平野郷、曾根、崎、住吉、高槻、茨木、吹田、池田、麻田、河内の富田、林、國分、八尾、久寶寺、枚方、守口、和泉の湊、岸和田、貝塚、佐野の町村を就中有名あり。

| 名稱 | 人口 | 大阪よりの距離 | 所在地 |
|------|---------|---------|--------|
| 大阪市 | 四七〇、三〇九 | 〇 | 攝津國西成郡 |
| 堺市 | 四五、五二〇 | 三里十三町 | 和泉國大鳥郡 |
| 難波村 | 二六、五〇〇 | 三十三町 | 攝津國西成郡 |
| 天王寺村 | 一四、二九七 | 一里六町 | 全國東成郡 |
| 岸和田 | 一一、三六四 | 七里二十町許 | 和泉國南郡 |
| 平野郷町 | 七、八〇二 | 二里二十七町 | 攝津國住吉郡 |
| 佐野村 | 六、七九九 | 九里二十二町 | 和泉國日根郡 |
| 八尾村 | 六、五七八 | 四里二十六町 | 河内國若江郡 |
| 住吉 | 六、五〇三 | 二里二十町許 | 攝津國住吉郡 |
| 池田町 | 五、八八〇 | 五里二十三町 | 全國豐島郡 |
| 貝塚町 | 四、九二六 | 八里二町 | 和泉國南郡 |

(岸和田、岸和田町、同濱町、同村を合算と)

(住吉、墨江、及住吉兩村を合算と)

| | | | |
|------|-------|--------|--------|
| 吹田村 | 三、九六二 | 二里十五町 | 攝津國島下郡 |
| 大津村 | 三、七二五 | 六里六町 | 和泉國泉郡 |
| 茨木村 | 三、五二五 | 四里二十五町 | 攝津國島下郡 |
| 富田村 | 三、一八二 | 五里十九町 | 全國島上郡 |
| 高槻村 | 三、一〇五 | 六里十四町 | 全國全郡 |
| 湊村 | 三、〇九六 | 三里二十六町 | 和泉國大鳥郡 |
| 富田林村 | 二、九九九 | 七里十八町 | 河内國石川郡 |
| 國分村 | 二、九九〇 | 六里二十五町 | 全國安宿郡 |
| 尾崎村 | 二、四四七 | 十二里三町 | 和泉國日根郡 |
| 久寶寺村 | 二、四二二 | 四里十五町 | 河内國澁川郡 |
| 枚方町 | 二、三三八 | 五里十町 | 全國茨田郡 |
| 守口町 | 一、三七二 | 二里五町 | 全國全郡 |
| 麻田村 | 一、〇六八 | 四里六町 | 攝津國豐島郡 |

五、生業及産物
七、農業及農産物

生業の主要なるものを農ふして、商工之小次ぐ。農業と地味の肥沃なるふりて、頗耕種不適し。米、麥、綿、甘蔗、到る處ふ之を産し。藍、蜜柑、甘藷、桑之ふ

次ぐ。而て一年の價額、九百十二萬九千八百二十圓の多きに至る。

| 名稱 | 産 | 額 | 價 | 額 |
|-----------|----------|------------|---|---|
| 米 | 六九一九七二石 | 五、〇五一、三九六円 | | |
| 實綿 | 二一九七五二一貫 | 一、〇九八、七六一 | | |
| 麥(裸麥大麥小麥) | 三〇七六一五石 | 九五六、九〇九 | | |
| 菜種 | 一〇七一七六 | 五六七、〇九八 | | |
| 甘蔗 | 八九〇九一四八貫 | 三四二、三七〇 | | |
| 蜜柑 | 二二二五九七三 | 二一八、一六九 | | |
| 甘藷 | 四五二一六六四 | 一八〇、八六七 | | |
| 藍葉 | 八九五四六三 | 一六六、五九一 | | |
| 蘿蔔 | 六四六四八六五 | 八五、一八五 | | |
| 蠶豆 | 一五四三七石 | 五六、六一五 | | |
| 大豆 | 九二八二 | 五一、四五五 | | |
| 烟草 | 八六七九六貫 | 三〇、二七九 | | |
| 桑葉 | 三五六六二九 | 二四、九六四 | | |
| 西瓜 | 五一五五五二 | 二三、九六〇 | | |

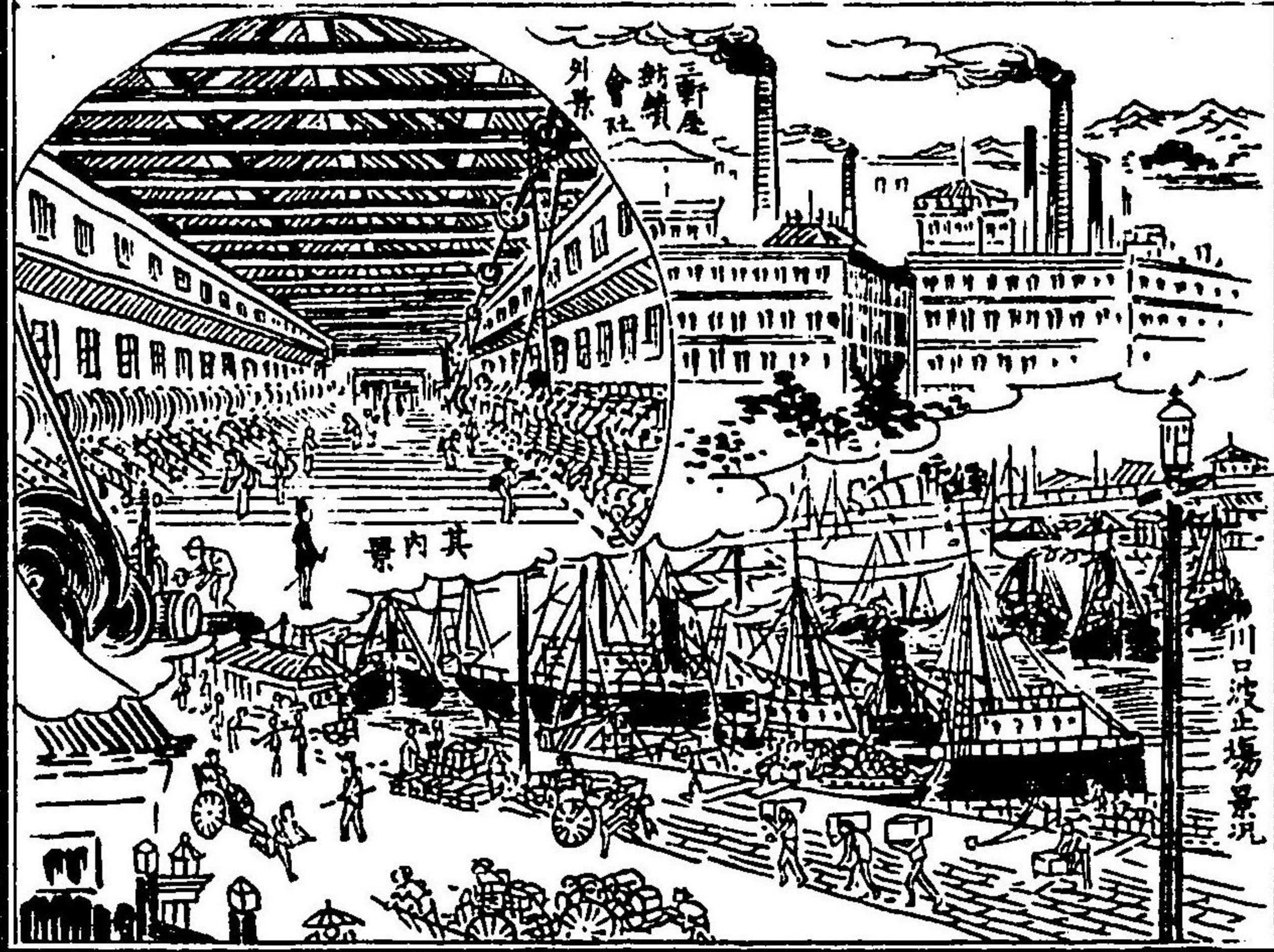
2. 商業

3. 工業及製造品

| | | |
|-----|--------|--------|
| 桃 | 三五〇九四二 | 二三、七一七 |
| 胡蘿蔔 | 九二八五八三 | 二三、二一五 |
| 葱 | 六五八三三六 | 二一、九七九 |
| 柑 | 三四〇九四六 | 二〇、四五七 |
| 梨 | 一二九四九〇 | 一四、五八九 |

大阪市を我邦第一の商業地として、陸もを鐵道四方に達し、港灣も臨み、溝渠を通じ、商況實に盛なり。之も次ぐもの、堺市にして、又商業盛なり。此他の町村も、商業に從事するものありと雖、大阪及堺も比もれど、誠し微々たるものあり。大阪市を唯商業の中心たるのみならず、亦工業の中心にして、種々の製造に從事す。而て堺市を

之ふ次ぐものなり。製造品の最_モ主要あるもの。綿布及_モ綿糸ふ_一て。三國到る處之を製_一。煉瓦と和泉、攝津を專_一。酒類と池田町及_モ堺市を最_一す。寒天及_モ紙類を專_一。攝津ふ_一於て製_一。油類を三國均_一く之を造る。製茶ハ河内最_モ多く。和泉、攝津之



ふ次ぐ。

| 名稱 | 價額 | 名稱 | 價額及産額 |
|-----|------------|----|----------|
| 木綿糸 | 二、六四九、八四五円 | 寒天 | 一七五、六四五円 |
| 木綿布 | 一、二四三、七四一 | 酒類 | 一五三、八〇一石 |
| 燐寸 | 六一三、六一八 | 醬油 | 二二、二五〇石 |
| 油類 | 五八四、七二二 | 紙類 | 七一、〇三八円 |
| 煉瓦 | 二〇、九八二 | 製茶 | 八六、〇四五貫 |

山地の人を樵業ふ從事_一。又鑛業を攝津の豊鳴、能勢、鳴下の銅、銀坑ふ行る。

| 名稱 | 産額 | 名稱 | 産額 |
|----|------------|----|---------|
| 銅 | 四、二九九、七七七貫 | 銀 | 一九、五二七貫 |

沿海の地を攝津、和泉の兩國のみふ_一て。攝津ふありてハ漁場ふ充つべき所。多くは兵庫縣ふ屬_一。從ひて物産こ_一て見るべきもの少く。唯海藻

4. 樵業鑛業及鑛物

5. 漁業及水産物

奈良街道 大坂市南區河内郡英田村松原

小出で、關八峠を越り、八丁、大和、國、龜、瀨、越、奈、原

達、大、阪、市、東、區、上、二、町、を、過、ぎ、郡、河、内、王、寺、村、に、至、り、

住、吉、郡、平、野、郷、町、を、り、龍、田、を、出、て、國、安、宿、部、郡、

良、分、村、を、經、大、和、國、河、内、王、寺、村、に、至、り、

高野街道 西、高、野、内、街、道、程、八、龍、田、を、出、て、國、安、宿、部、郡、

天、見、村、に、至、り、管、内、錦、部、郡、三、日、市、村、を、經、て、

東、高、野、街、道、と、管、内、錦、部、郡、三、日、市、村、を、經、て、

野、郡、山、田、村、に、至、り、管、内、錦、部、郡、三、日、市、村、を、經、て、

紀州街道 大、阪、市、南、區、下、茶、屋、住、吉、郡、難、波、村、を、經、

十、村、部、野、郡、山、田、村、に、至、り、管、内、錦、部、郡、三、日、市、村、を、經、て、

え、高、野、街、道、と、管、内、錦、部、郡、三、日、市、村、を、經、て、

津、村、南、郡、岸、和、田、町、貝、塚、町、日、根、郡、北、信、達、村、

大、和、川、を、渡、り、和、泉、國、界、市、出、て、泉、郡、大、

里、場、等、を、過、ぎ、て、紀、伊、國、和、歌、山、沿、ひ、多、奈、川、

郵便電信局を大阪市にあり。是より名邑ハ云ふ

ふ及むず。邊村ハ至るまで。郵便の通ぜざること

ふ、管内と管外とを問へば、瀧車の通ざる處を、

之より、和歌山、京都、奈良、兵庫等へ通じ、管内ハ界

庫等へも、瀧船を以て之を遞送す。○電信を大阪

市及岸和町ハ分局あり。此他瀧車停車場ハ於

4. 郵便電信及電話

てい、人民の私信をも取扱ひ、大に便利を與ふ。電話も近來の創設ふして、未、普く行きどと雖、大阪府警察本部より、各警察署に通告するものあり。攝津も古浪速と云ひ、仁徳天皇高津に都し玉ひ、孝徳天皇も亦長柄に都し玉ふ。變遷して豊臣氏に至り、城を築き、後、徳川氏の領する處とあり、封を本州に受くるもの、尼崎忠松平三田久隆麻田青木一高槻永直清の四藩あり、主政維新に至りて大阪府を置き、更、兵庫縣を置く、而て尼崎及三田の兵庫縣に屬す。○反正天皇始めて河内の丹比ひに

都し玉ふ、丹比に今の丹北郡松原村まつはら上田うへだあり、後世國府を大縣郡に置き、楠正成守護たり、豊臣氏に至り、攝津より兼治し、又徳川氏に至り、丹南高木正狹山北條氏規の二藩、封を本州に受く、而て王政維新に至りて堺縣に屬せり。○古、河内を割きて和泉を置き、府を和泉郡に置きたり、府址今國分村府中ふちゅうにあり、變遷して徳川氏に至り、封を本州に受くるもの、岸和田あしなだ勝岡部宣伯太吉綱の二藩あり、王政維新に至りて堺縣を置く、

明治元年大阪府を置き、後屢變更あり、同四年更

ふ大阪府を置き攝津七郡を管も。又同年堺縣を置きて、河内、和泉二國を管す。同九年大和國を堺縣ふ合せ。同十四年堺縣を廢し、大和、河内、和泉を大阪府ふ合す。同二十年ふ至り。大和國を割きて、之を奈良縣とせり。而て同二十二年ふ至りて、市町村制を布も。大ふ町村の區劃を改正して、二市十二町三百九村とあり。自治の制となれり。

大阪府地誌畧終

明治廿六年四月廿五日印刷
明治廿六年五月五日發行

定價金十二錢

版權登錄編輯者

私立大阪教育會

版權

發行兼印刷者

大阪市東區備後町甲丁目八十五番屋敷

石井鉤三郎

發賣人

大阪市南區志齋橋筋壹丁目

松村九兵衛

有所

發賣人

大阪市東區備後町四丁目

吉岡平助

